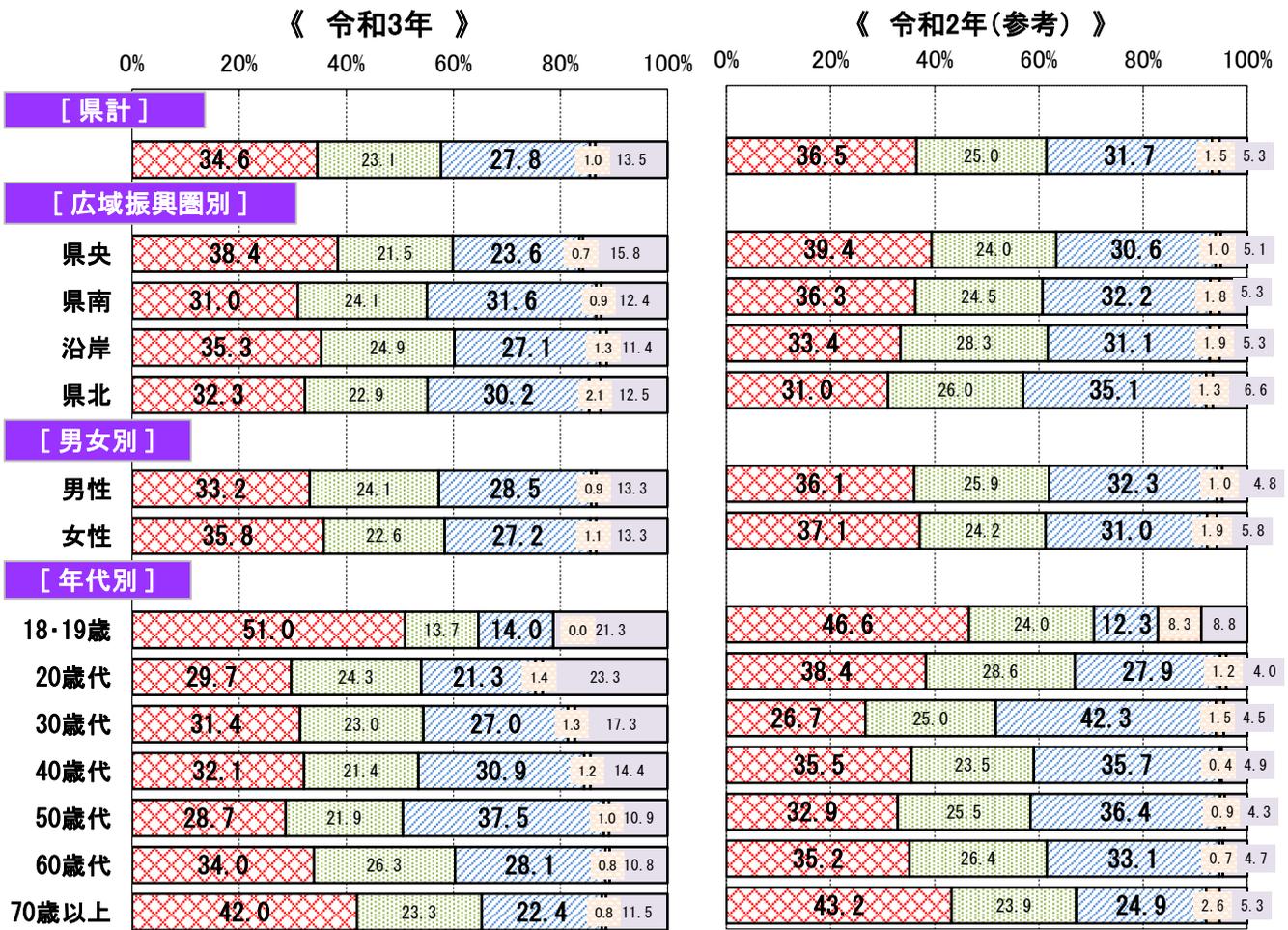
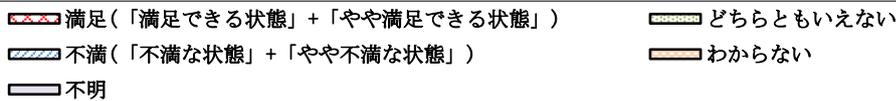


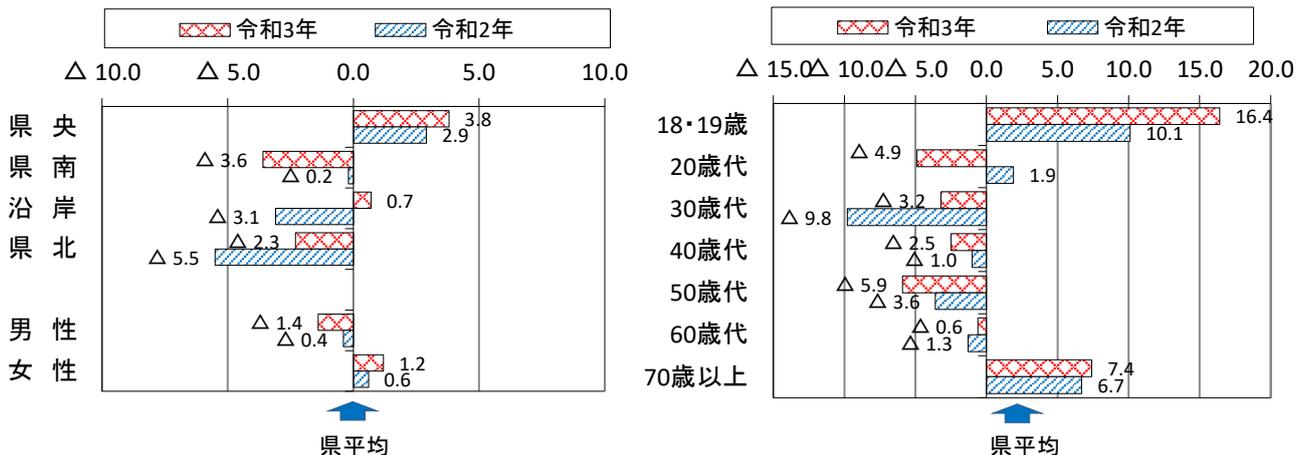
問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

満足が約35% (34.6%)、不満を上回る

- 県計では、満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)の割合が34.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合27.8%を上回っている。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(38.4%)、男女別では女性(35.8%)、年代別では18・19歳(51.0%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県央(3.8ポイント)、男女別では男性(△1.4ポイント)、年代別では18・19歳(16.4ポイント)となっている。



満足の割合の県平均との差

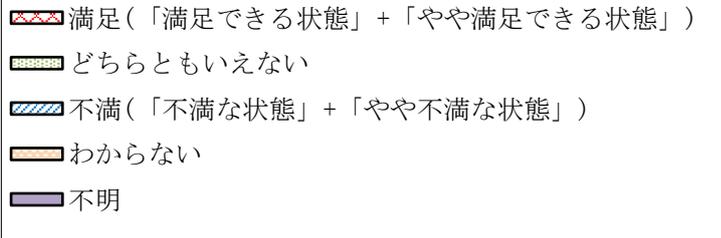


(広域振興圏別・男女別・年代別の回答内訳及び生活全般の満足度(平均)(5カ年分))

平成29年と比べて生活全般の満足度(平均)が上昇

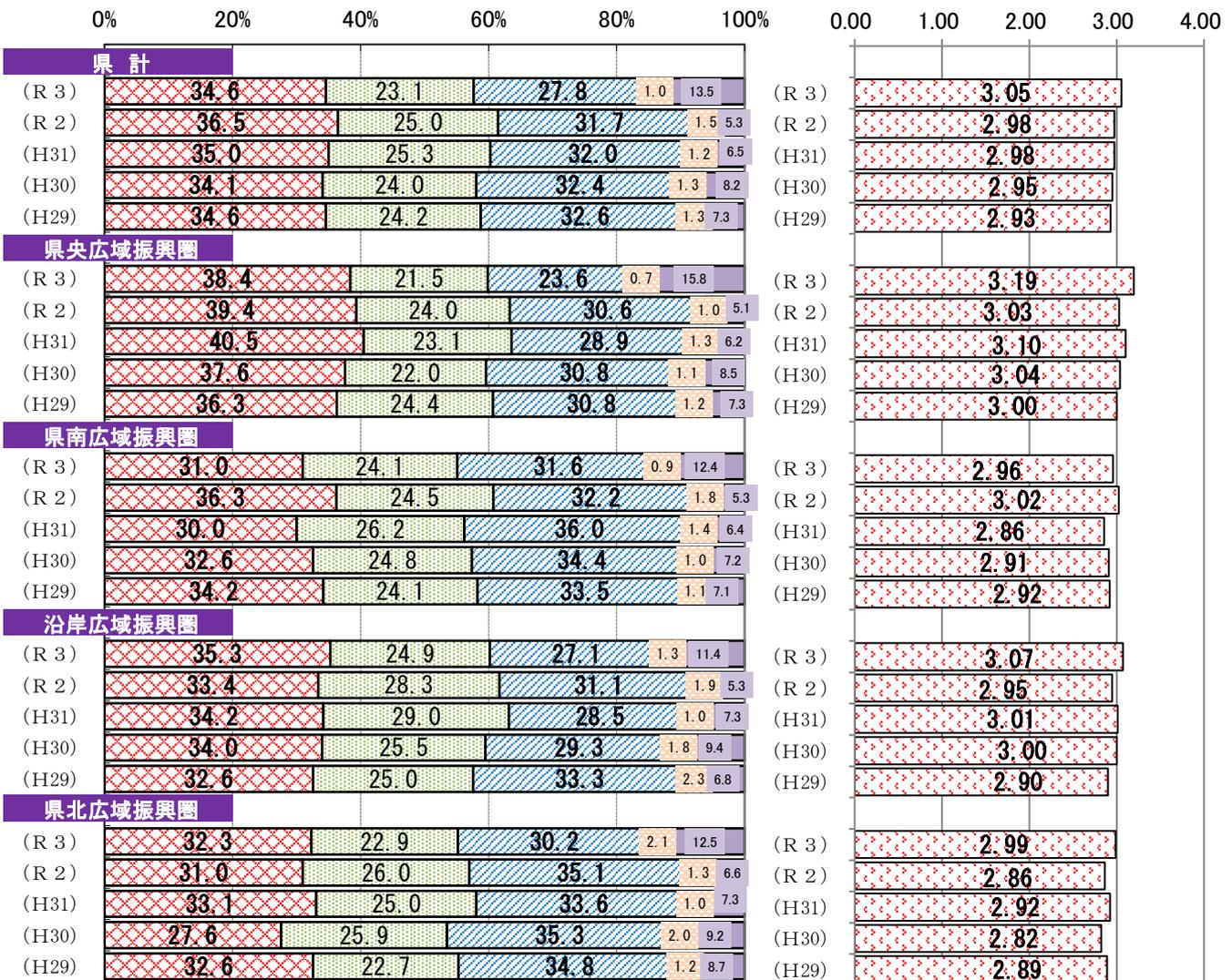
- 県計では、生活全般の満足度(平均)が3.05となっており、4年前と比べて0.12ポイント上昇している。
- 生活全般の満足度(平均)の増減が大きいのは、広域振興圏別では県央(0.19ポイント)、男女別では男性(0.13ポイント)、年代別では18・19歳(0.29ポイント)となっている。

<回答内訳>



<生活全般の満足度(平均)>

「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。



<回答内訳>

<生活満足度(平均)>

